いしかわ労福協

第 492 号　2009年1月15日

発　行　所　　石川県労働者福祉協議会
発行責任者　　上田弘志
編　集　人　　綿　征一
〒920-0024　金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定　　価　　一部　20円
昭和39年3月30日　第三種郵便物認可

乗鞍スカイラインより撮影＝勤文協写真教室「色写」所属　田中外志夫氏

謹賀新年

働く者の連帯で、社会的共感が得られる運動をめざして！

石川県労働者福祉協議会
理事長　上田　弘志

新年明けましておめでとうございます。

昨年も自治体・労働団体・事業団体をはじめ関係各位のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

石川労福協は、事業団体や労働団体と共に、自主福祉活動の充実と強化のため、相互に連携を図っています。特に、現役労働者と退職者、事業団体が一体となった石川県ライフ・サポートセンターや県内９地域に設置した地域ライフ・サポートセンターは、結成以来６年、スポーツやレクリェーション、文化活動などの行事開催を通して職場や地域に定着させるとともに、緊急サポートネットワーク事業を通して子育て支援を展開するなど、地域に密着した運動に取り組んでいます。また、県内の労働者福祉運動の拠点として充実・強化するため、石川労福協「福祉なんでも相談」と連合石川「なんでも労働相談」の一体化を行うなど、「暮らしの総合サポートセンター」をめざすと共に、県内労働者の就業支援を行うため、無料職業紹介所「ジョブいしかわ」を昨年12月1日に開設しました。

2009年は諸々の課題が山積しています。特に、少子高齢社会、人口減少社会が進展する日本社会で、非正規雇用が急増し低所得・不安定雇用層が拡大、正規雇用を中心に長時間労働の問題、メンタルヘルス不調者や過労死・過労自殺も増加の一途を辿り、大きな社会のひずみとして深刻な問題となっています。

今こそ、「連帯と相互の支えあい」という協力原理が活かされる社会、ぬくもりのある思いやりの社会が大切であり、効率と競争最優先の価値観から、公正と連帯を重んじる社会をめざすべきです。

新たな労働者福祉運動をめざし、「目に見える労福協」、「行動する労福協」、「社会貢献」を基本に活動を展開していくとともに、誰もがゆとり豊かさを実感できる社会を構築するため、社会全体の問題にどのように関わり、どう取り組むかが重要です。

すべての働く人たち、退職者・高齢者との連携を強め、生活防衛と福祉の向上を図るため、石川労福協を構成する連合石川の労働組合や労働金庫、全労済をはじめ各事業団体の皆さんとともに、働く者の連帯で職域活動、地域活動の特性を相互に補完しながら、一体的な運動を展開していきましょう。関係各位の皆さんのご理解とご奮闘を重ねてお願いし、新年のあいさつとします。

セーフティネットの充実・強化を目指して

石川県知事
谷本　正憲

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新春を、ご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進に深いご理解とご協力を賜っておりますことに、本誌面をお借りして心から感謝申し上げます。

昨年の秋以降、米国の金融危機に端を発した世界的な景気後退が、国内の減産・雇用調整に大きく波及し、県内の経済動向や雇用情勢も厳しさを増しております。

特に、雇用面におきましては、全国的に派遣労働者や期間工といった非正規労働者の雇い止めなどが社会問題化し、今後、県内でも派遣労働者や期間工などの雇用調整が懸念されるため、県では、各事業所を訪問して求人需要の調査や求人の掘り起こしを行う求人開拓推進員４名を、金沢のジョブカフェ石川及び小松・七尾のジョブカフェサテライトに配置したところです。

今後とも、国や関係機関と連携しつつ、さらなるセーフティネット(安全網)の充実・強化に向け、時機を逸することなく、適時適切な対応に努めるとともに、景気情勢の悪化に伴う雇用・労働問題や労働条件の解決についても、積極的に取り組んでまいります。

また、貴協議会においては、昨年12月に無料職業紹介所(ジョブいしかわ)を開設され、県内の中高年層の未就職者や働く意欲のある高齢者等の就業を支援されており、関係各位のご尽力に感謝申し上げる次第であります。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

市民生活の安全・安心の確保を

石川県市長会
会　長　山出　　保
（金沢市長）

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様方には、市政の推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、昨年７月28日、本市に発生した局地的な集中豪雨は、浅野川流域を中心に甚大な被害をもたらしましたが、市民ボランティアの皆様が献身的に尽力され近隣市町からもご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、アメリカに端を発した金融危機により、世界不況の様相となってまいりました。わが国の経済にも影響が及び、景気の後退が現実化し、企業及び雇用の状況は次第に深刻の度を増しております。

こうした中、私ども各自治体といたしましても、中小企業者の経営と雇用問題、市民生活の安定になしうる最善を尽くしてまいりたいと考えております。

特に、本市といたしましては、将来につながる施策の推進に積極果敢に取り組み、地域経済の活性化を柱として市民生活の安全・安心確保、都市基盤の整備と、ものづくり産業の振興、福祉・環境・教育への対応、さらに歴史都市及び創造都市の実現などに全力を尽くしてまいりたいと考えております。

石川県市長会としましても、地方分権による自立度の高い市政をめざし、市民生活の安全・安心の確保や循環型社会の形成などの課題に、一生懸命に取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりましたが、皆様方のご多幸を祈念いたしますと共に、本年も格段のお力添えをいただきますようお願い申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

新年おめでとう

石川県労働者福祉協議会役職員一同

理事長　上田　弘志（連合石川）
副理事長　梅澤　彰人（北陸労働金庫）
〃　橋本　和雄（全労済）
専務理事　才田　巌（専従）
常務理事　綿　征一（専従）
理事　矢嶋　幸雄（住宅生協）
〃　川口　昭一（労信協）
〃　表　重雄（生協連）
〃　長田　孜（北陸労働金庫）
〃　水野　志郎（全労済）
〃　狩山　久弥（連合石川）
〃　光林　邦彦（JAM）
〃　宮下　亮（電機連合）
〃　柴田　康廣（UIゼンセン同盟）
〃　柚木　光（県教組）
〃　湊口　洋伸（情報労連）
〃　西田　満明（電力総連）
〃　曽谷　修（JP労組）
〃　坊　真彦（高教組）
〃　南　高広（私鉄総連）
監事　高　芳晴（自治労）
〃　奥井　良信（JR連合）
〃　酒井　敏次（運輸労連）
ライフ・サポートセンター事務局次長　谷内　英明（専従）
アドバイザー　一明　政行（専従）
事務局員　直江　圭祐（専従）
〃　吉村　和実（専従）
〃　紙谷加奈子（専従）

地域の振興と住民福祉の向上に最善を尽くす

石川県町長会
会　長　村　　隆一
（津幡町・町長）

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい平成21年の新春を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中、皆様には、各町政の推進につきまして格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は政治、金融、経済、社会のさまざまな分野において、従来からの基本構造に液状化が起き、あらゆるひずみ現象が噴出した1年でありました。更に、本年はそうした状況が一層悪化する年とも言われております。また、今後は、そうしたひずみの多くが一番大きく顕在化するのは、私ども地域社会ではないかという危倶も感じております。

こういう厳しい時代において、住みよい生活環境を実感できるよう、その舵取りには難しい局面もあると思いますが、私ども町長会、各町としては、雇用の安定を主眼に、地域産業の活性化など、各地域の振興と住民福祉の向上のため最善を尽くしてまいりたいと考えております。

幸いに、それぞれの地域社会には、他に誇れる人々のつながりがあります。今後は、各町とも、住民と行政との協働でもって、ぬくもりと人間味のある施策を念頭に、効率的に自治・自立のまちづくりを進めていきたいと思います。

結びに、石川労福協はじめ皆様方におかれましては、一人ひとりが誇りと愛着を持ち住んでよかったと実感できるまちづくり実現のため、一層のご協力ご支援をお願い申し上げますとともに、本年が皆様方にとって、健康で幸多い一年でありますようお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

希望の扉を開く１年！

労働者福祉中央協議会
会　長　笹森　　清

新年明けましておめでとうございます。

経済・政治の混迷と変革への希望が交錯する中での年明けとなりました。

暴走する市場原理主義のもとで、勤労者の雇用や暮らしは破壊され、貧困と格差が広がっています。しかし、今般の世界的な金融危機に象徴されるように、マネーゲーム化した資本主義は破綻し、市場万能の新自由主義は終焉を迎えつつあります。

チェンジの波は、アメリカだけでなく日本の足下にも確実に押し寄せています。今こそ、労働運動と労働者福祉運動の力で地域社会の連帯の絆を再生させ、“協同”が輝きを増す社会を創り出していく時です。

私たちは、この間の貸金業法や割賦販売法の改正、反貧困などの取り組みの中で、多くのことを学び、成果を上げてきました。同質の協力は和(足し算)にしかなりませんが、異質の協力は積(掛け算)となって、計り知れないパワーを発揮します。社会の不条理に対して共感の得られる運動を展開すれば、政治を動かし社会を変えることができるのです。労働運動と消費者・市民運動が垣根を越えてつながり、貧困の解消と生活の底上げに向けた世直し運動の大きなうねりをつくっていこうではありませんか！　労福協は、その“かすがい”となります。

また、協同事業の社会的価値や力量を高め、地域に根ざした顔の見える活動の前進に向けて、労働者福祉のネットワークを最大限に活かしていくことが必要です。軌道に乗り始めたライフサポート事業を定着・発展させ、勤労者の“拠り所”となる総合的な支援センターへの道筋を切り開いていきましょう！

時代を動かす“物語”をみんなで編み出し、希望の扉を開く１年にしましょう！

新年あけましておめでとうございます。 今年もご支援ご協力をお願いします。

珠洲・能登地域ライフ・サポートセンター
会　長　大庭　毅
事務局長　加藤　政道

輪島・穴水地域ライフ・サポートセンター
会　長　上野　正剛
事務局長　萬亀　弦治

七尾・鹿島地域ライフ・サポートセンター
会　長　野田　昭一
事務局長　井田　孝之

羽咋地域ライフ・サポートセンター
会　長　窪田外志治
事務局長　上田　清春

河北地域ライフ・サポートセンター
会　長　前後　和雄
事務局長　吉川　武久

金沢地域ライフ・サポートセンター
会　長　佐々木良盛
事務局長　谷内　英明

〃 東北ブロック運営委員会
委員長　山口　幸男
事務局長　久富　象二

〃 南ブロック運営委員会
委員長　柚木　稔
事務局長　掛場　誠一

〃 西ブロック運営委員会
委員長　浦　和彦
事務局長　鈴木　隆史

白山・野々市地域ライフ・サポートセンター
会　長　油　省三
事務局長　福村　滋

小松・能美地域ライフ・サポートセンター
会　長　庭田　茂男
事務局長　辻　洋志

〃 能美ブロック運営委員会
委員長　冨田　航
事務局長　山下　秀信

〃 小松ブロック運営委員会
委員長　紺谷　充弘
事務局長　安村　裕之

加賀地域ライフ・サポートセンター
会　長　中川　貢
事務局長　伊藤　謙次

勤労者の皆様のお役に立てる事業を目指して

北陸労働金庫
石川県本部長　梅澤　彰人

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、労金運動の推進につきまして深いご理解と多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

過ぎし2008年という年は、地球温暖化対策が叫ばれる中、7月8日、洞爺湖サミットにおいて、2050年までに温暖化ガス排出量を50%削減する目標を全世界で共有するよう求める合意を得ましたが、その直後、8月27日までガーナの首都アクラで開催された地球温暖化問題に関する国連の作業部会は、2013年以降のポスト京都議定書（次期枠組み）について何も決められないまま閉幕しました。営利を優先して、環境を後回しにするのも人の業ですが、自然を大切に思う心も人は持っていると私は確信しています。

そして経済においても、米国発の金融危機の影響が日本経済を苦しめ、原油価格の乱高下、ドル安加速、地価下落、実態経済に不安波及、日経平均が大幅反落、負の連鎖の中で、企業破綻・倒産・失業の言葉を聞かない日はありません。しかし、日々苦しい生計の中で明るさを失わないのも人間です。

世界経済は疾風怒濤の只中にあります。その環境下において、北陸労働金庫は厳しい経営の舵取りに努めて参りました。御蔭様で安心・健全・貢献を標榜する福祉金融機関の名の通り、事業継続に足る利益を上げることが出来ております。また現在は、労金の全国合併(日本労金創設)に向けた論議を進めております。今後、どのような社会貢献ができるのか、どれだけ勤労者の皆様のお役に立てるのか、新しい年はそのような気持ちを胸に抱いてまい進する所存です。

最後になりましたが、皆様のご健康と今後の益々のご発展をご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。

「助け合い運動」の前進をめざして

全労済石川県本部
理事長　橋本　和雄

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、労福協をはじめ協力団体、組合員の皆さんの御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2008年は、日本全国においてゲリラ豪雨による自然災害が多発いたしました。県下においても浅野川の氾濫による多くの組合員の住宅が床上浸水の被災を被りました。

全労済は、被災者宅を全戸訪問しお見舞い調査活動を行ない共済金をお支払いさせていただきました。

毎年起こる自然災害に対し、全労済は連合石川との共同で「助け合い運動」を県下の連合構成組織、組合員に加入展開活動を決定し取り組んでおります。

運動の内容は、住宅保障を中心に、地震、台風といった自然災害から住宅火災までの被災に対し組合員相互の助け合いとして被災された組合員の生活再建のお役に立てることを目的としています。

これこそ、生協の理念である「組合員どうしの助け合い」の精神であり更に推し進めていくつもりでございます。

また、サブプライムから始まった世界的金融危機は、雇用問題など私たちの生活に直面しますます苦しいものとなってきております。

全労済は、組合員の保障の見直しから始まった生活保障設計運動を積極的に推し進め、保障の見直し、ムリ・ムダを取り除き、組合員の将来の安心と安全の提案活動も引き続き行なってまいります。

本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げ、皆様方のご健康とご多幸を心から祈念し新年の御挨拶とさせていただきます。

あけましておめでとうございます。

労福協と一緒に運動を進める

石川県勤労者住宅生活協同組合
理事長　矢嶋　幸雄

新年明けましておめでとうございます。

昨年は自治体をはじめ関係労働団体のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

住宅生協におきまして昨年の当初は宅地分譲ならびに資産の売却が順調に推移しましたが、その後、米国に端を発した日本の景気後退の大波を受けて、住宅・不動産業界を取り巻く環境も激変し、その影響が当生協の経営にも大いに現れており、楽観できない状況にあるといえます。

当生協は、設立以来46年間、勤労者への住宅や宅地の分譲に務めてきましたが、時代の変化により勤労者の多様化するニーズや少子社会を目の当たりとして、当生協事業そのものの「あり方」について、当生協はもとより労福協において検討されてきております。

本年も労福協の皆様と一緒に運動を進めて参りますので関係各位の変わらぬご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

最後になりましたが皆様方のご健康と益々のご発展を祈念し新年のご挨拶といたします。

地域と全国の仲間と連帯し、堅実に進める

石川県生活協同組合連合会
会長理事　横山　和男

新年明けましておめでとうございます。

昨年は労福協はじめ各事業団体、自治体の皆様にはご厚情を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

また、冷凍餃子中毒問題、COOP商品の一連の商品事故につきましては、皆様に多大なるご心配をおかけしたことに心からお詫び申し上げます。

生協の食の安全・安心が大きく揺らぎました。組合員の暮らしに貢献する生協として、信頼回復と再発防止に向けた取り組みを地域や全国の仲間と連帯し、堅実に進めてまいる所存です。

また、昨年４月１日より施行された改正生協法に基づき、より一層社会的な責任と役割を果たしていきたいと思います。

本年も、地域に根ざした存在として期待に応えうる運営に努めてまいりたいと思います。何卒、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

労働者の信頼を基礎に地域に根を張った福祉事業を

㈶石川県労働者信用基金協会
理事長　川口　昭一

2009年新年明けましておめでとうございます。

昨年は設立40周年式典をはじめ事業全般にわたって自治体や労福協、労働団体、事業団体の皆様からご支援、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて日本経済は輸出関連産業を中心に「順調」に推移してきましたが、アメリカ発の金融危機と円高・株の暴落によって一瞬にして吹き飛び、再び不況局面に突入しました。そして早くも派遣や契約社員など非正規雇用労働者の首切りや賃下げなど、すべての犠牲が勤労者にしわ寄せされようとしています。しかも「経済優先」を掲げる麻生自公政権は、第二次補正予算も提示しないまま福祉の切捨てや増税を目論んでいます。

このように労働者の生活不安、雇用不安が高まる中で私たちは、労働金庫の系統保証機関としての信用保証を的確に実行することを通じてすべての労働者の負託に応えると共に、労働者福祉運動の一翼を担っていく決意を新たにしています。また、当面する重要課題であります新公益法人制度や日本労働金庫構想に伴う労信協のあり方などに対しても、「福祉事業は地域に深く根を張ってこそ使命が果たせる」との精神を忘れず、万全を期していきたいと考えております。より一層の変わらぬご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

最後になりましたが皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ年頭のごあいさつといたします。

恭賀新年

住宅生協
石川県勤労者住宅生活協同組合
金沢市西念３丁目３番５号
TEL (076) 263−4344

財団法人 石川県労働者信用基金協会
金沢市西念３丁目３番５号
TEL (076) 261−4347

生協連
石川県生活協同組合連合会
金沢市西念３丁目３番５号
TEL (076) 264−0550

新しい年を迎え、皆様のご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。

スポーツで職域・地域の交流を深めよう！

石川県勤労者体育協会
会　長　中谷　喜和

新年あけましておめでとうございます。

自治体をはじめ競技団体、企業、労働団体、勤体協役員の皆様方には、事業の推進に温かいご支援ご協力を賜わり、心から感謝を申し上げます。

昨年は、政治の混迷や世界的金融危機等から急激な景気減速をまねき、加えて多発する劇場型犯罪が暗い世相を映し出す中にあって、唯一北京オリンピックにおける日本選手の活躍やプロスポーツにおける若きヒーローの誕生が、私達に感動と夢を与えてくれた年ともいえます。

スポーツで培った豊かな活力ある心身は、今後の高齢化社会の生活に不可欠でありかつ重要な役割を担っていると言えますので、これからも職域や地域に広くスポーツの普及を図り、県内各地で誰もが楽しく参加出来る各種大会を開催し、スポーツを通して勤労者の交流やふれあいを深めてまいります。

また、各地域ライフ・サポートセンターのスポレク部会の活動にも参画し、生涯スポーツの育成・継続・定着を図ってまいります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げますと共に、本年も変わらぬご支援、ご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。

ホップ ステップ ジャンプの年に！

石川県勤労者文化協会
会　長　大樋 長左衛門
（日本芸術院会員）

新年あけましておめでとうございます。

景気がいっこうに良くならず、そのカジ取りの国政が混迷を極めています。

地球環境が蝕まれ人々の心に閉塞感が広がり希望が失われています。

このような混乱の中、私たち美術、文化の活動はますます活性化しています。世の中が暗くおもしろくなければそのハケ口を人々は求めています。その受け皿としての美術、文化の役割は大変重要です。

そのような情勢の下、私たち石川の勤労者文化協会は昨年、創立40周年を数え、記念行事を盛大にとり行ないました。それもひと重に皆様方のご理解ご協力の賜物と感謝いたしております。

私たち関係者はこれを弾みとして新年度は更なる飛躍をめざします。人々の生活がホップ・ステップ・ジャンプする年になるよう頑張りましょう。

新年に当り皆様方のますますのご発展をお祈りいたします。

第39回石川県勤労者
早春書画・生花展

と　き　平成21年1月22日(木)～1月25日(日)
午前10時～午後6時
但し、最終日は午後3時まで

ところ　アートシアターいしかわ
金沢市片町2丁目2番5号
ラブロ片町7Fギャラリー I

◇主　　催　石川県勤労者文化協会
◇後　　援　北國新聞社、石川県労働者福祉協議会
◇作品搬入　書画の部
・1月17日(土)～18日(日) 午前10時～午後4時
・石川県勤労者福祉文化会館（フレンドパーク石川）
生花の部
・申込締切　1月19日(月)
石川県勤労者文化協会（郵便・電話・FAX可）
・1月21日(水) 午後4時～午後8時（本展会場へ）
（注）お花の管理は各自ですること
◇問合わせ　石川県勤労者文化協会
TEL (076) 231−1746　FAX (076) 231−1731
金沢市西念3丁目3番5号（フレンドパーク石川3F）

歴史に学ぶ心を大切に

ＮＰＯ法人
いしかわ介護ボランティアセンター
代表理事　澤　　信俊

新しい年を迎え、心新たに暮らし易い福祉社会の構築を目標に邁進したいと思います。

昨年９月15日の米国大手証券会社リーマン・ブラザーズの破綻は、1997年11月に自主廃業した山一證券の出来事を思い出させます。しかし、今回のリーマン・ショックは米国一国に止まらず、アイスランドをはじめ一国経済を破綻させるほど世界経済に深刻な影響を及ぼしています。現に進行している金融危機は、金融という衣をまとった巨大ロボット（金融テクノロジー）に新自由主義のプログラムを組み込み、米国の一国支配体制を地球規模で作り出そうと挑戦した結果起こったと考えています。この金融危機は、自由主義･市場原理という新自由主義の歴史的終焉を意味しています。

こうした事態を経済の歴史を通してみた場合、1929年10月24日のウォール街株価大暴落「暗黒の木曜日」に匹敵すると考えられます。日本でも昭和大恐慌として知られていますが、その後の進路は不幸な太平洋戦争への道をたどることになりました。時代は当時と大きく異なっていますが、再びかつてのように不幸な道を歩まないと何人も断定できないと思います。今はその転機に立っています。これからの私たちは、20世紀前半の過ちの歴史に学ぶ心を大切にし続けなければならないと思います。

労働者福祉協議会が先頭に立ち、歴史に学ぶ心を大切にして思いやりのある福祉社会づくりに貢献されることを祈念いたします。

働きがいのある人間らしい仕事をめざして

連合石川
会　長　上田　弘志

新年あけましておめでとうございます。

1990年代半ば以降、企業の短期的収益確保のための人件費削減や労働分野の規制緩和により、パート・派遣など非正規労働者が急増し、今や全労働者の３分の1を超え、日雇い派遣労働者や「ネットカフェ難民」など、ワーキング・プアも増大し、その結果、自殺者が1998年以来10年連続で年間3万人を超えるなど、深刻な社会問題となっています。

雇用・所得における二極化と格差拡大、若者のフリーター等の非正規労働の増大、正社員の長時間労働など、「ワーク・ライフ・バランス」には程遠いのも現状です。仕事と生活の調和の実現のためには、長時間労働の是正、均等待遇の原則など働き方の見直しをはじめ、抜本的な改革と社会的な取り組みが今後ますます重要です。

今年も労働分配率の改善や組織拡大など、課題山積ではありますが、労働運動が本来持つ社会的役割に対する強い期待を受け止めながら、ひとつ一つの課題に果敢にチャレンジし、着実に成果を上げていくため、連合石川の総力を結集し運動を展開していきたいと考えます。そして、働いても働いても報われない社会に歯止めをかけ、働きがいある人間らしい仕事が実感できる社会を構築していきましょう。

連合石川は、各地協が地域における自主福祉活動の推進拠点であり、ワンストップサービスを提供する拠点としての役割を果たすとともに、労働者福祉事業の充実・強化に向け、各事業団体の取り組みを推進していきます。

石川労福協をはじめ各事業団体の益々のご発展を祈念し、連合石川に対するより一層のご理解とご協力を重ねてお願いし、新年の挨拶とします。

「さわやかU」餅つきボランティア

さわやかUが年末に行っている「餅つきボランティア」を12月20日(土)、金沢市「かみやち児童クラブ」で実施。８年目となる今回は、子ども達の「餅つき体験」を中心に企画したところ、約120名の子どもと家族が参加した。

当日は小春日和の中、午前9時から26名のボランティア会員が準備を開始し、9時40分からの開会式ではさわやかUの黒川俊秀事務局次長が司会、澤信俊理事長と特別参加の奥田建前衆議院議員が挨拶し餅つきを開始した。

もち米を19臼･30kgと蒸籠・釜・杵・臼を２セット準備し、参加したボランティアは、つき手と手がえしが二組に分かれ、あんこ餅・きな粉餅・おろし餅・ぜんざい作り担当がそれぞれ作業を進めた。

子供たちは、ボランティア会員と父兄に支えてもらいながら、重い杵を振り下ろした。順番に餅をついた後は、つきたての餅を美味しそうに頬ばった。

子ども達の笑顔を見ながら、「餅つきボランティア」を今後も継続することを確認した一日となった。

石川労福協第5回理事会

県労福協第５回理事会が12月22日(月)、フレンドパーク石川で開かれ、緊急サポートネットワーク事業廃止に係わる対処等について協議した他、12月1日から開設された無料職業紹介所「ジョブいしかわ」について12月16日現在、求職者数28名(内24名が登録)、求人数５社19名を受付したことや自治体訪問要請行動、ＬＳＣ関係等を報告し、2008年度上半期の決算報告・会計監査報告を承認した。

また、「2009年新春の集い」を連合石川と共催で１月６日(火)に金沢都ホテルで、「第32回石川労福協研究集会」と「第５回ライフ・サポートセンター代表者会議」を2月27日(金)にフレンドパーク石川で、それぞれ開催することを確認した。

なお、次回理事会は2009年2月24日(火)10時より、フレンドパーク石川で開催する。

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

会員募集状況／サポート状況

12月31日現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	9	12 (+5)
わじま	2	10 (+1)	7 0
ななお	6	3	0 0
はくい	2	5	0 0
かほく	12	53	53 (+1)
かなざわ	108 (+1)	303 (+2)	460(+58)
はくさん	26	70 (+1)	82 (+9)
こまつ・のみ	18	34	30 (+6)
かが	3	4	0 0
計	183 (+1)	491 (+4)	644(+79)

(　)は前月比。尚サポート回数は、今年度の総数

事務局日誌

<12月>

16(火)	連合石川、労福協、労金、全労済連絡会議	北陸労金
19(金)	連合石川総研第2回理事会、第15回総会	フレンドパーク石川
20(土)	さわやかU餅つきボランティア	神谷内児童倶楽部
22(月)	石川労福協第5回理事会	フレンドパーク石川
26(金)	フレンドパーク石川「互助会総会」	フレンドパーク石川

< 1月>

2(火)	「谷本知事」新年互礼会	金沢ニューグランドホテル
〃	「奥田建」新年互礼会	ホテル日航金沢
5(月)	事務局会議	フレンドパーク石川
6(火)	連合石川、労福協「新春の集い」	金沢都ホテル
〃	平和運動センター「新春の集い」	金沢スカイホテル
9(金)	連合金沢・金沢地域LSC「合同旗開き」	労済会館
10(土)	石川民社・友愛連絡会「新春の集い」	金沢都ホテル
15(木)	第３回事業団体連絡会議	金沢市内

日本ILO協会・ILO駐日事務所共催 「ディーセント・ワーク」セミナー 金沢市で開催・約100名が参加

日本ILO協会・ILO駐日事務所共催セミナーが「すべての人に『ディーセント・ワーク』を ～より公正なグローバル化と地域の課題～」をテーマに12月10日(水)、金沢市の労済会館で開催され、後援団体の石川労福協や連合北陸ブロック、石川労働局、石川県、県経営者協会、北陸三県のILO協会などから約100名が参加した。

セミナーの冒頭、主催者を代表し中村正日本ILO協会会長がILO協会の取り組みと歴史を含めて挨拶。来賓の渡辺英俊石川労働局長、高本隆石川県商工労働部長、上田弘志石川労福協理事長(連合石川会長)が順に挨拶した。

引き続き、長谷川真一ILO駐日代表が「ディーセント・ワークとは何か」と題し講演。仕事における基本的人権を確保するには、「職業差別や強制労働をなくす必要がある」と話し、ILOの目的・組織・活動等を詳しく解説した。次に、「ディーセント・ワーク実現へのアプローチ」をテーマに、村木太郎厚生労働省総括審議官(国際担当)が政府の立場から、中嶋滋ILO理事が労働者側の立場から、鈴木俊男ILO理事が経営者側の立場でそれぞれ講演した。

休憩後、現地報告「地域の状況とディーセント・ワーク」と題し、上田弘志連合石川会長が労働者側の立場から、魚住隆彰石川県経営者協会副会長(北陸鉄道(株)社長）が経営者側の立場でそれぞれ石川県の状況を説明した後、中村日本ILO協会会長をコーディネーター、講演者４名をパネラーとし、４名の参加者からの質問に答え、セミナーを終了した。

食とみどり、水を守るいしかわネットワーク
「アジア・アフリカ支援米発送式」と「第3回総会」

支援米発送式

第3回総会

食とみどり、水を守るいしかわネットワークは12月11日(木)、「アジア・アフリカ支援米発送式」と「第３回総会」を開催した。

午前11時30分より金沢市役所前広場で行われた「アジア・アフリカ支援米発送式」では、構成組織組合員や食・緑・水ネットの各幹事など、約30名が出席。冒頭、上田弘志代表が、日頃の活動に対する感謝と発送費用カンパの要請などを含めて挨拶。顧問代理の奥田建民主党石川県第１区総支部代表と山本ゆきこ金沢市議会議員が、世界の飢餓の現状やボランティア精神の大切さなどを訴えた。

山本康晴事務局長が「今回発送するお米は金沢市、小松市、七尾市で地域の子供たちが作付けし、農家の方が日常管理し収穫したもので、今回、アフリカのマリ共和国へ630kg発送。船便で現地には１月末頃に到着予定」と報告。また「２月中旬、カンボジアに向けて1,290kg発送する予定」と話した後、お米はトラックに積み込まれ東京へ向けて出発した。

午後３時からフレンドパーク石川で開かれた「第３回総会」では、アジア・アフリカ支援米活動や森林・水環境の美化に関するボランティア活動、食の安全・安心や食育についての学習会に取り組むことなどを決めた。

総会では、連合石川や県労福協、連合総研、民主党石川、社民党石川の代表38名が出席。2008年度の活動・会計報告や2009年度活動方針・予算・役員の案件をすべて承認した。

引き続き、「わが国の食料自給率および食生活構造と二酸化炭素排出量の関係」と題し、石川県立大学の宮脇長人教授が講演。宮脇氏は、地球温暖化による異常気象と化石燃料の燃焼で大気中二酸化炭素の増加を説明した後、農産物の消費に伴う有効炭素排出係数などを詳しく解説した。

食・緑・水ネット事務局長　山本康晴

連合石川総研第15回定期総会
狩山氏（連合石川事務局長）が専務理事に就任

澤理事長

狩山専務理事

叶教授の講演

2009年度役員

理事長	澤　信俊	金沢星稜大学
副理事長	上田　弘志	連合石川・石川労福協
〃	叶　秋男	北陸大学
専務理事	狩山　久弥	連合石川
理　事	寺井　直則	北陸先端科学技術大学
〃	広岡　立美	民主党石川
〃	宮下登詩子	社民党石川
〃	才田　巖	石川労福協
〃	綿　征一	石川労福協
〃	長田　孜	北陸労金
〃	水野　志郎	全労済石川
〃	宮本　一二	石川労信協
〃	野村　昇司	連合石川
〃	山崎　勝博	自治労
〃	渡辺　雅人	ＪＡＭ
〃	宮下　亮	電機連合
〃	池口　泰三	ＵＩゼンセン同盟
〃	国吉　正人	県教組
〃	小林　宣之	情報労連
〃	村本　直樹	電力総連
〃	新明　宏	高教組
〃	中西伊知郎	ＪＰ労組
〃	中田　一夫	私鉄総連
会計監査	田中　重雄	全自交ハイタク
〃	畑中　伸之	サービス・流通連合
顧　問	佐藤　進	前理事長

「連合石川総研第15回定期総会」が12月19日にフレンドパーク石川で開催された。

冒頭、澤信俊理事長は「アメリカ発の世界同時不況に対し、1940年に経験した歴史を今、繰り返してはならない」と挨拶。引き続き、宮本一二専務理事が2008年度活動・決算報告と2009年度事業計画・予算を、才田巖理事が役員体制をそれぞれ提案し、満場一致で承認された。

事業計画については、不況による勤労者の仕事と暮らしの実態と社会保障制度に対する考え方に関するアンケートの実施を決めた。また、役員を22名から26名体制とし、石川労福協関係では労金、全労済、労信協から各１名が理事に加わった。

総会後、「規制緩和路線の結末」と題し、叶秋男北陸大学教授(連合石川総研副理事長)が講演した。

叶教授は「今、金融危機は2006年の米住宅バブル崩壊で、住宅金融専門会社の資金繰り悪化から始まった」と述べ、金融危機の規模を「世界の金融損失は5.8兆ドル(550兆円)と日本のGDPに匹敵する」と話した。また、80年代の新自由主義台頭と規制緩和策の拡大により、労働分野への影響を1986年(中曽根内閣)労働派遣法、1999年(小渕内閣)派遣業種拡大、2004年(小泉内閣)製造業務解禁が今回の失業の要因であることなどを詳しく解説。最後に、金融危機からの脱出には「国際的なキャピタル・ゲイン規制と高付加価値労働の推進と実質的な労働分配率の引き上げが重要」と結んだ。

地域ライフ・サポートセンターだより

加　賀

「錦城学園家族交流会」ボランティアで10名が参加

恒例の錦城学園祭は、校舎改築工事のため２年間中止されていたが、今年は規模を縮小し12月6日(土)、「家族交流会」として行われた。

この交流会に加賀地域ＬＳＣは、おなじみの「スーパーボールすくい」と「バルーンパフォーマンス」を出店、会員10人がボランティアで参加した。

バルーンパフォーマンスでは、LSC会員のボランティアが風船でプードル、ドナルドサンタ、ねずみ、タイガーの帽子などをあっという間に仕上げ、軽妙なおしゃべりと見事な作品？を参加者にプレゼントし喜ばれた。

会場では、学園の畑で収穫された野菜・花苗・唐辛子の販売や学園生と職員による太鼓演奏、金城大学サークルのヒップホップダンス、手品、ジャズ演奏などで参加者は大いに楽しんだ。

加賀地域LSC会長　中川　貢

七尾･鹿島

「未使用タオル収集キャンペーン」タオル1,600本を贈呈

七尾･鹿島ライフ･サポートセンターは、昨年の春から秋にかけて福祉施設に贈呈するために「未使用タオル収集キャンペーン」を実施。６年目となる取り組みは、組合員をはじめ労組ＯＢや一般の方々からタオル約1,600本の善意が寄せられた。

集められたタオルは、11月29日(土)に管内の特別養護老人ホーム７ヶ所に贈呈することができ、各ホームの施設代表の方々からは、「利用者の入浴や消毒用に使えるので大変役立ちます」との感謝の声をいただいた。

ひとり一人の小さな気持ちが積み重なってできた大きな取り組みです。今後も地域において活動の輪がさらに広がっていくことを期待します。

七尾・鹿島LSC事務局長　井田孝之

河　北

緊サポ部会「会員交流会」親子でクリスマスケーキ作り

河北地域LSCは、緊急サポートネットワーク・会員交流の「クリスマスケーキ作り」を12月13日(土)、かほく市七窪公民館で開催した。

交流会には、12家族26名(大人17名、子供9名)が参加。昨年に続き講師をお願いした青木クッキングスクールの加藤先生は、ユーモアたっぷりのトークでスポンジ作りから実演した後、参加者は用意されたスポンジケーキを半分にカットし、生クリームをクリーム状になるまで泡立て、最後はハンドミキサーの力を借りて作り上げた。早い人は30分位で完成させた。

今年は、親子三代で参加した人も多く、小さいお子さんと一緒に作る微笑ましい楽しいケーキ作りとなった。

来年以降は、形を変えて、地域に密着した行事を企画して行きます。

河北地域ＬＳＣ事務局長　吉川武久

白山･野々市

「寄せ植え教室」クリスマス用に33名が参加

12月13日(土)午前10時より白山市労働会館で、白山・野々市ＬＳＣ文化部会主催の「寄せ植え教室」を開催した。

参加者33名は「Ｇ＆Ｂ川端園芸」の講師の川端喜伸さんより、寄せ植えの基本をまず教えていただき、クリスマス用に用意した沢山の草花のポットより、個人の好みで６個を選び、背の高いものから順に植え込む基本を守りながら、それぞれの作品を作り上げた。

選択の幅はあるものの、使用する材料は基本的には各自とも同じだが、植え込みが進むにつれ、それぞれの個性が光り、独自の作品に仕上がった。

最後は、水遣りの基本や手入れの仕方を学び、帰り際には参加者全員がポインセチアをお土産にいただくなど、楽しい創作の時間を過ごした。

白山・野々市地域ＬＳＣでは、次年度もこういった文化教室の開催を計画している。今回参加できなかった方も、次のチャンスには是非参加していただき、楽しい時間を共有できればと思う。

白山･野々市ＬＳＣ事務局長　福村滋

珠洲・能登

「日帰りバスツアー」お年寄り・子どもら61名が参加

報告が遅れましたが、昨年の9月28日(日)、珠洲・能登地域LSC恒例行事の「日帰りバスツアー」を労金珠洲地域推進委員会と共催で実施した。

今回の行き先は10月に閉館予定の「ルネス金沢」としたところ、何かと忙しい日々の合間をぬって、お年寄りから子どもまでの61名が参加した。

館内でプールや映画、ボウリング等で遊んだ後、金沢市街へ出向きショッピングも楽しんだ。

これからも、種々の活動を通じて地域の人達と触れ合い、親睦を深めていきたいと考えています。

珠洲・能登地域LSC事務局長　加藤政道

緊サポ「会員交流会」クリスマス・デコレーションケーキ作り

12月20日(土)午後2時から、珠洲労働会館で緊サポすず地域センターの「会員交流会」を開催した。

大人8名と子ども9名の参加者は、冒頭、緊サポ県センターの直江圭祐アドバイザーから、緊サポの事業説明を聞いた後、交流会のメインである「クリスマス・デコレーションケーキ作り」を実施した。

参加者は、準備された生クリームや果物で、思い思いに飾り付け、美味しそうなケーキに仕上げた。

最後に、子ども達は「飴つかみ取り」を楽しみ、交流会を終了した。

緊サポすず地域センター事務局　椎左裕子

出席者に挨拶する労福協と連合石川の役員

司会の宅本執行委員

柴田副会長の発声で乾杯

藤間信乃輔さんの「新春獅子の舞」

閉会挨拶は梅澤副理事長

ガンバロウ三唱

「フレンドパーク石川」防火講習会と互助会総会

12月12日(金)13時30分より、フレンドパーク石川のテナント役職員や防火責任者ら28名が出席し「防火講習会」を開いた。

講習会の冒頭、才田巖自衛消防隊長が挨拶した後、金沢市駅西消防署の浅田義英消防司令より「金沢市内では、住宅用火災警報器を設置したことにより火災を早期に発見し、大事に至らなかった事例が今年に入り4件発生した」と報告した後、自衛消防活動についてパワーポイントで説明した。続いて、会社防火避難訓練に関するビデオを上映し、「実際の火災時、慌てずに行動ができるよう、日常から消火器の場所確認や使用方法の訓練を行ってほしい」と要望した。

当会館は毎年、春は「避難訓練」、秋は「防火講習会」を実施している。

また、フレンドパーク内で勤務する者(希望者)で構成する「フレンドパーク互助会総会」を12月26日(金)11時45分よりフレンドパーク石川2Fホールで開催。参加した44名の会員は、役員・幹事等を確認した。

引き続き行われた「忘年昼食会」では、フレンドパーク互助会の才田巖会長が挨拶、上田弘志副会長が乾杯音頭、綿征一幹事長が司会を務め、参加者は谷内英明県LSC次長の進行による「運だめしビンゴゲーム」を楽しんだ。

石川労福協・連合石川共催「2009新春の集い」

2009春闘と衆院選の勝利を誓う

石川労福協・連合石川共催の「2009新春の集い」は1月6日(火)、金沢市の金沢都ホテルで開催された。

石川労福協として6回目となる「新春の集い」には、来賓や事業団体、ライフ・サポートセンター、連合石川、地協の役職員など約250名が出席し、厳しい雇用環境の中、2009春季生活闘争と衆議院選挙の勝利やライフ・サポートセンター運動、緊急サポートネットワーク事業、福祉なんでも相談活動、無料職業紹介事業(ジョブいしかわ)の推進に向け決意を新たにした。

宅本門示連合石川執行委員の司会で始まった「新春の集い」は、藤間流「新春獅子の舞」が披露された後、上田弘志石川労福協理事長・連合石川会長は冒頭、「連帯と相互の支え合う思いやりの社会とするため、効率と競争最優先の政策から大きく舵を切る、歴史的転換点の年にしなければならない」と述べ、連合石川が結成20周年を迎えるにあたり「労働組合は、雇用を守り安全で安心して働き続けられる職場環境をつくることが最大の使命」と訴えた。衆議院選挙については「政策と政治の転換を図るため、すべての選挙区で勝利し、与野党逆転を果たさなければならない」と強調。今春闘について、内需拡大による景気回復と生活防衛を果たすことを目的に「すべての労働者の処遇改善や法定最低賃金につながる企業内最低賃金協定の締結拡大と水準の引き上げと共に、政府に対し雇用のセーフティネットの整備など、雇用を守る取り組みを強めていく」とし、具体的な要求について「賃金カーブの維持分4,500円と消費者物価上昇分4,500円、格差是正分を合わせて9,000円以上の賃金引上げとする」と話し、また、低賃金や不安定な労働条件で働く非正規雇用に対し「連合石川は1月26日、非正規労働センターを設立し、相談活動や支援・底上げ、ネットワークづくりなどに取り組む」と述べた。石川労福協の活動については「事業団体や労働団体と共に、自主福祉活動の充実と強化のため、相互に連携を図り、7年目に入るライフ・サポートセンターは、地域におけるワンストップサービスを提供する拠点としたい」と話し、石川労福協の『福祉なんでも相談』と連合石川の『何でも労働相談』を一体化し、無料職業紹介所『ジョブいしかわ』と『連合石川非正規労働センター』が連携することにより「県民や勤労者に頼られる『暮らしの総合サポートセンター』を目指していく」と方向を示し挨拶を結んだ。

来賓の谷本正憲知事、山出保金沢市長、一川保夫参議院議員が挨拶した後、柴田康廣連合石川副会長の発声で乾杯し、引き続き、宮下登詩子社会民主党県連合代表、金原博新進石川会長、北尾強也連合石川法曹団代表と奥田建(石川1区)・田中美絵子(石川2区)・近藤和也(石川3区)衆議院選・連合石川推薦候補者の祝辞の後、連合石川地方議員懇談会に所属する県市町議会議員が壇上に並び、それぞれ今年の決意を述べた。

最後に、梅澤彰人石川労福協副理事長の閉会挨拶の後、上田石川労福協理事長・連合石川会長のガンバロウ三唱で丑年の運動をスタートした。

来賓挨拶

谷本知事

山出市長

一川参議員

宮下代表

金原会長

北尾弁護士

衆議院選候補者の決意表明(左より奥田・田中・近藤の各氏)

連合石川地方議員団